

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	加須市農業振興ビジョン推進会議
開催日時	令和 7 年 8 月 1 2 日（火） 1 3 時 3 0 分 から 1 4 時 4 5 分まで
開催場所	加須市役所本庁舎 5 階 5 0 4 会議室
議長氏名	委員長 小川 達男
出席委員	柳田 浩 委員 佐久間 尉匡 委員 角田 大輔 委員 赤坂 由枝 委員 島田 和男 委員 眞中 紀 委員(代理) 小川 達男 委員 山中 哲大 委員 松井 弘文 委員 下山 房巳 委員 黒川 正美 委員 藤原 豊 委員 中野 治 委員(代理) 沼尻 文明 委員 (14 名)
欠席委員	—
会議次第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員長・副委員長の互選 5 委員長・副委員長あいさつ 6 議 事 ・第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 6 年度実施状況 について 7 その他 8 閉会
会議資料 の名称	【資料 1】 加須市農業振興ビジョン推進会議設置要綱 【資料 2】 加須市農業振興ビジョン推進会議委員名簿 【資料 3】 評価基準 【資料 4】 令和 6 年度進行管理調書のまとめ 【資料 5】 令和 6 年度取組結果表 令和 6 年度進行管理調書（実施状況報告書） 「第 2 次加須市農業振興ビジョン」の中間見直しについて
会議の公開又 は非公開の別	公開
非公開の理由	—

傍聴者の数	0人
説明者の 職・氏名	経済部長 野崎 修司 経済部参事兼農業振興課長 野中 裕
事務局職員 職・氏名	農業委員会事務局次長 前島 勝己 産業振興課課長 横山 清治 騎西総合支所農政建設課長 渡辺 伸征 北川辺総合支所農政建設課長 山村 賛 大利根総合支所農政建設課長 田沼 誠 経済部農業振興課主幹 松井 善人 経済部農業振興課主任 松本 浩一郎
会議録の 作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要 な事項	—

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局（松井主幹）	1 開会 会議の公開及び公表説明 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員長・副委員長の互選 委員長 小川委員 副委員長 山中委員 5 委員長・副委員長あいさつ ～市長、他の公務により退出～
議長（小川委員長）	6 議事 はじめに、次第の議事 第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 6 年度実施状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局（野中課長）	第 2 次加須市農業振興ビジョン令和 6 年度実施状況について説明
議長（小川委員長）	ただいまの事務局から説明の説明について、皆さんからの御意見・御質問はございますか。
下山委員	基本方針 3 の地域農業を牽引する人材への支援ということで、認定農業者の実績が 299 人ということですが、増えた人数ということではなく現在の数字ということなののでしょうか。また、どのような年齢層となっているのでしょうか。
事務局（野中課長）	資料 5 の 7 ページ目に、各年の 4 月 1 日現在の農業者数を記載しておりますとおり、令和 6 年度までは少しずつではございますが増えております。また、年齢層については、申し訳ございませんが資料を持ちあわせておりません。
下山委員	年齢層を把握し、それなりに対応していただければありがたいと思います。 もう一つ、加須の農業担い手塾の令和 6 年度受講者の年齢は分かりますか。

事務局（野中
課長）

年齢をまとめた資料を持ちあわせておりませんが、塾に参加している方といたしましては、20代の方から40代、50代の転職をして就農を目指すような方、退職した方まで、幅広く参加いただいております。20代から40代くらいの比較的に若い方は就農につなげていただけるような方、どちらかというと年齢の高い方は、家庭菜園を少し発展させて出荷してみようというような方が多いです。本格的に営農につなげていくという考えで、まずはここから取り組んでいくというような若い方が多くいらっしゃいますので、そういった面で期待が持てるのかなというような現状でございます。

下山委員

農業の担い手の裾野を広くすることは大事なことであると思うのですが、若い方々の農業者人口を増やしていくことが大事なのではないのかなと。担い手にしろ、そういった事業について、正直、高齢者よりも若い方を中心とした考え方にし、裾野を広げていっていただきたいと思います。

藤原委員

基本方針2施策3の具体的取組の中の経営所得安定対策の国の助成対象人数の内容になりますが、資料5の6ページで言っている経営所得安定対策の国の助成対象人数というのは、水活と産地交付金と畑作物の直接支払い交付金の3つことを言っているのでしょうか。

その3つに限定した人数ですと、米価の上昇は関係がないのかなという気がします。実際に関係があるとすれば、収入減少緩和対策であるとか、収入保険であるとか、その辺は、米価が上がって収入が増えるということになれば人数が減るということにばるので、人数が減ったことが果たしてやや遅れている、効果が無かったということになるのか、指標の内容についても疑問でありますし、先ほど言った3項目以外に、私が言ったようなことも入った上での人数減少であれば減るのは分かるのですが、米価が上がることでこの3項目は減らないと思うのですが、その点はいかがでしょうか。

事務局（野中
課長）

ここでは、この3項目に絞っております。取組人数ということなので、米価が上がったから少なくなったというようなことで表現させていただいたのですが、これだけが理由ではないと思っております。米価が上がって、転作ではなく主食用米に取り組んだことにより減ったのではないのかという一つの要因ということであげさせていたものです。経営所得安定対策の評価指標については、これまでは米価が低い中で違う作物を作ること、こちらを活用していただいて経営安定に寄与していただくというような趣旨

	からの指標という理解をしているところです。米価が上がってきている中で、この指標がこのままでよいのかということについては、検討するところがあるのかなというところでございます。
藤原委員	米価が圧倒的に上がったのは昨年からのので、その前は主食用米に転換するほど米価の変動があったということではないので、そのへんの分析をもう少し正確にさせていただきたいと思いますし、指標のほうは、御検討いただければと思います。
松井委員	何か特産として、加須市のブランドを増やせるような、自慢できるような加須市を目指すような目標を作っていたきたい。
事務局（野中課長）	新たなブランド化といったことでしょうか。米どころという中で、現在、大豆やソバなども増やしていただいております。その他、各地域でナシやイチジク、キュウリ、ナスなどのいろいろな農産物をブランド化ということで位置付け、最近ではイチゴが話題となり各生産者とJAさんに協力いただいてPRをさせていただいております。市のブランド化の中では、いろいろな農産物を位置付けさせていただいておりますが、引き続き新たな取組ができるよう研究してまいりたいと考えております。
松井委員	JAがやっている直売所などがありますが、道の駅ほどではなくとも、JAなどとタイアップし、統一した大きな直売所を作ってほしいという生産者からの意見が出ております。JAと市との連結は難しいとは思いますが、何かそのような計画等があるのでしょうか。昔にそのような話を聞いたことがあり、それから5年、10年経っても進んでいませんが、ビジョンはあるのでしょうか。
事務局（野中課長）	はっきりと申し上げられる計画等は今の時点ではございません。5年前と変わっていないと言われてしまうと恐縮ですが、この場では残念ながら申し上げられるものはないというのが現状でございます。
沼尻委員	ビジョンの実施状況について特に回答は結構ですので、感じたことを述べさせていただきます。施策2の農業生産基盤の整備の取組①は場の大規模化に向けた支援ですが、農用地の規模拡大に関する地元要望へのスピーディな対応策として、加須市さんで行われております畦畔除去等の支援は、大変有効であると思っております。しかしながら、畦

畔除去等の支援というのは、ほ場整備の完成形ではないと考えております。区画が大きくなったけれども用水路は、土水路のままで、排水路は水はけが悪いとか、道路はすれ違いが困難だとかいった状態では農作業の効率化や生産性の向上を図るということは十分には言えないと思いますので、できれば区画整地と併せて道路と水路を一体的に整備する、いわゆるほ場整備事業の導入をお考えいただければと考えております。

もう一点、取組②の農業水利施設の老朽化に対する保全・整備で、これに対する成果指標に多面的機能支払交付金の補助対象面積が用いられておりますが、多面的機能支払交付金というのは、農業の有する多面的機能の維持管理を図るため、農地や農業施設などの地域資源を技術管理するための活動に支援する交付金であり、農業水利施設の老朽化に対する保全・整備の手法としては弱いような気がします。老朽化した施設の整備として、加須市さんでは北川辺地区で団体事業を実施されていますし、本年度も県費単独土地改良事業を3地区ほど実施されていますので、むしろこのような事業の実施地区数を指標とする方が适当ではないのかと。令和3年にこのビジョンができて今更指標を変えというのは難しいと思いますが、せっかく事業をやられているので、そういった指標の設定もあったのではないのかと思っております。

最後に、私ども加須農林振興センター管内のほ場整備地区は、昭和40年代、50年代に実施した地区が多く、かなり老朽化が進んでおります。これらの施設を管理している土地改良区さんで、非常に苦勞されて管理を行っております。他の市町村で、このような土地改良は、例えば県費単独土地改良事業を実施した場合、県の補助金だけでなく市町村が補助する例も多々あります。先ほど市長さんのお話がございましたけれども、加須市さんは農業予算に非常にお金をかけていらっしゃるということで頭の下がる思いですが、農業水利施設の老朽化に対する保全・整備という取組を掲げているのであれば、小規模の土地改良区さんの支援も考えていただければと思っております。

事務局（野中課長）

まず、区画拡大につきましては、おっしゃるとおり、皆さん同じように道水路の整備や、区画拡大もそうですが、御意見があらうかと思えます。そういった中で、加須市内ではほ場整備の要望をたくさん受けており、市として区画拡大を優先にというような方針で取り組んできていることから、道水路は後となっている経緯があります。このままでよいのかというのはありますが、区画拡大をスピードアップし、農作業の効率化を図るところで行っておりま

す。以前は道水路も含めた事業もやった箇所もあったかと思いますが、最近では区画拡大のほうに主眼を置いてやっております。

それから、多面の指標はそのとおりで、水路等に位置付けられる部分ももちろんあるかと思いますが、この指標は、今後の見直しの中でどの程度変えられるのかというところですが、貴重な御意見とさせていただきたいと思えます。

先ほど市長さんのお話の中で、農業予算が非常に大きいというものの中には、水路等の整備という部分もかなり入っていると思えます。農業者への補助という部分もございますが、金額的に大きいのは、その部分がかなり入っているかと思えます。そういった中で、きめ細かく各ほ場の水路のところまでは手が廻らないというのが現状では御指摘のとおりかと思えます。本日お集まりの委員さんも同じような意見をお持ちかなというところで、我々もそういったお話は耳にしておりますので、その辺も踏まえて、今は拡大というところでやらせていただいておりますが、それも重要な課題であると認識しておりますので、今すぐには回答できませんが、貴重な御意見ということで改めてありがとうございます。

下山委員

ビジョンとは外れますが、農林振興センターもいるところなので、加須市として、県として害獣対策についてはどのようにお考えでしょうか。

事務局（野中課長）

加須市といたしましては、特に北川辺では最近、イノシシが出てきており、その前はアライグマとかハクビシンというようなところで、現状の市の体制は、環境部門の方をお願いをして対応いただいている状況でございます。そういった中で、最近ではイノシシが大分、農地の方にも出てきており、私も環境の担当と一緒に、本日お越しの加須農林の方とも一緒に見てきたところでございます。環境だけでいいのかというところは、これから整理してやっていかなくてはいけないかなというところでございまして、今すぐに農政のほうでこれと言えるところはないのですが現状は確認させていただいているところでございます。

下山委員

今後ともよろしく申し上げます。

山中委員

私は大越なのですが、インフラがどこも老朽化し、機場のポンプが1基故障していてポンプが1基しかない状況で、1基で100ヘクタールを賄っているため、ほぼ間に合わず、私が40万円位の自腹でエンジンポンプを7基買

事務局（野中課長）	ってきました。どこの地域のポンプ機場も40年位経っているため、たぶんそのような状況になってくるのではないのかなと思います。本当に待ったなしだと思うので、インフラにも目を光らせてもらわないと。加須市だけの問題ではないと思いますが。今そういうことで苦労しています。
議長（小川委員長）	おっしゃっていただいたとおりで、実際にそのような水利組合が各地区にはあると思うのですが、老朽化してきて修繕をするとすると、その組合員で賄った負担金の中で行うのにも、1,000万円を超えるような額であったりとかというような中で、補助制度を使いながらやっているところはあるんですが、全部満足できるような改修ができるのかというと予算の中では、どうしても削って削ってというところで運営していることは認識しております。その辺も非常に大きな課題ということで、ハードの部分は、国のほうも同じようなことを言っていたと思いますので、県のほうと相談させていただきながら、少しずつ解消できるように考えていければというところで、改めて問題提起いただきありがとうございます。
事務局（松井主幹）	本日予定した議事につきましては、すべて終了いたしました。 皆様の御協力により 議事がスムーズに進行いたしましたことに、厚くお礼を申し上げて議長の役を解かせていただきます。 7 その他 「第2次加須市農業振興ビジョン」の中間見直しについて説明
加須農林振興センター 三橋主任	栽培技術情報（イネカメムシ等防除）について説明
事務局（松井主幹）	8 閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。（注）

令和 7 年 8 月 2 / 日

署名

小川 達男

（注）特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。